

翠龍太極拳倶楽部

翠龍太極拳倶楽部は令和2年7月に発足した歴史の浅い倶楽部です。荒木老師（先生）指導のもとベテランから初心者まで男女6名からスタートし、現在は初心者中心の昼の部もでき、昼夜合わせ15名で簡化二十四式太極拳を基本から練習しています。太極拳の歴史は古く、長年に渡り中国の民衆に支持されてきました。現在は競技として、また健康維持のためと日本でも広く行われるようになりました。近年ではテレビなどでも紹介され、その健康効果が注目されています。激しい運動を伴わず全身運動が出来る太極拳は老若男女問わず行える運動のひとつだと思います。順番を覚える、身体を動かす等、同時に物事を行う事で認知機能を保つ事にも役立ちます。

太極拳を通して城山町の多くの皆様がより健康で楽しく生活を送れますよう一人でも多くの方の御参加をお待ちしております。私達といっしょに学びましょう。

寒い冬は体が温まり、他の季節はとても気持ち良い汗が流せます。

広い中央公園が城山町の住人の多くの老若男女の皆様でいっぱいになり、一斉に太極拳でこち良い汗が流せたら、なんてすばらしい事でしょう。皆さんで太極拳の町、城山町を造り上げませんか。

（石原 敏江）

昼の部（初心者クラス）

月曜日 第2・4・5 13:30～15:30迄

夜の部（経験者クラス）

毎週月曜日 18:00～20:00迄

城山公民館 2階 講義室



城山かりゆしの会

令和元年公民館主催事業で沖縄の三線の講座が開かれ、講座終了後受講者を中心に『城山かりゆしの会』として発足しました。現在会員は男性1名女性18名の19名です。

「かりゆし」には、おめでたいという意味があります。講座の講師森田潔先生がご指導して下さいて今に至っています。先生のお人柄でいつも和やかに練習が行われています。先生のご指導は第2第4の火曜日ですが、第1第3の火曜日にも公民館に集まって自主練習をしています。自主練習には会員のひとり飯野幸恵さんがリードして下さいています。

練習曲は沖縄に古くから伝えられている歌、新しい歌、沖縄に捉われない、聴いている人みんなが口ずさめる懐かしい歌等です。

三線は、歌いながら弾くので、沖縄の方言は母音があいうえおの5文字ではないので発音しにくいところが有る上に、意味が解らなくて歌いにく

かったり、速い歌には手がついていけなかったりで、なかなか上手く弾けなかったりしますが、先生の丁寧なご指導で、みんな上達して来ています。何よりみんな三線の優しい音色が好きで、ずっと続けたいと思っています。

「いちゃりばちょうでー」沖縄の言葉で（一度会ったら皆兄弟）の言葉通り、新しく入った人もすぐに溶け込んで練習に励んでいます。

（細井 利江）

